

卒業生の皆さん本日はご卒業誠におめでとうございます。

保護者の皆様におかれましては大変なご苦勞もあったことかと思いますが、9年間という義務教育の責務を果たされ、立派に成長をしたお子様の姿にお喜びのこととお祝い申し上げます。この子供たちの成長は保護者の支えはもちろんのこと、校長先生を始め教職員の方々の熱心なご指導、そして地域の方々のご支援によるものと深く感謝致しております。

さて卒業生の皆さんは、今日で義務教育を終え4月からは自らの意思で考え、学ばなければならぬ新しいステージへ進みます。そこで、勉強やスポーツを一生懸命頑張れば頑張るほど「壁」にぶつかる事もあるかもしれません。

昨年引退した元メジャーリーガーのイチロー氏は「壁というのは、できる人にしかやってこない。越えられる可能性のある人にしかやってこない。だから、壁があるときはチャンスだと思っている」と述べています。では、何故この行き詰まった状況を「壁」と表現するのでしょうか？「断崖絶壁」でも同じではないでしょうか？それは壁が行き止まりやゴールといった終着点ではないからです。その先へ進む事ができるからです。

しかし、その壁を乗り越えるには今まで築いてきた足元を更に高く積み上げる必要があるでしょう。しかも積み重ねる基礎はとても崩れやすいものかもしれません。

目の前に迫った壁に圧倒され気持ちが折れる事もあると思います。そんなときは、耳を澄ませてみましょう。既にその壁を越えている先生方、指導者、先輩、いろんな人が壁を乗り越えるアドバイスをしてくれます。また、その壁はどれくらいの高さ、幅、厚みがあるでしょう？もしかしたら、越える事が不可能に思える壁もちょっと回り道をすれば簡単にその向こう側に進めるかもしれません。簡単に穴を開ける事ができるかもしれません。これからの人生において壁を越える事ができるのは、自分に打ち克てるのは自分だけです。大事なのは壁の向こう側に行こうとする強い気持ち、そのために人の声に耳を傾ける素直さ、その壁を冷静に判断する事のできる視野の広さだと思います。そして壁を越えたとき、バスケットボールの神様と呼ばれたマイケルジョーダン氏が言ったように「何かが障害のように立ちはだかっていると感じていても実際には何もない」と、壁を越えたものだけが味わえる境地へと進むことができます。

そして、壁の向こう側にはきっと明るい未来が広がっていると思います。

これからの皆さんのご活躍をお祈り致します。

令和2年3月7日

P T A会長 兼城安孝